

支援プロジェクト終了審査対象団体一覧

No.	プロジェクト名	実施団体 (プロジェクトリーダー)	プロジェクトの概要	支援状況	関係課
1	まちのキャッチフレーズ、 創って使い倒してずっとつ ながるプロジェクト	文京かるた隊 (都丸 光子)	<p>新住民が地元を知らず愛着やつながりががない等の課題解決に向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文京区の著名な事項・地理・歴史・人物などについての「町の100キャッチフレーズ」を複数イベントとコンテスト方式で創りあげる。 ・コミュニケーションツールとして紙カードゲーム(b-caruta)・Webサイト・冊子作成する。 ・ワークショップ、カードゲーム大会、町歩きなど家でも町でも使う機会を増やし、共通言語として使い倒す(町会イベント、商店会、学童保育、高齢者施設等)。 ・地域の人とのつながりとともに楽しい思い出として記憶され、キャッチフレーズが浸透、未来へと世代や時間軸を超えて、地元意識を形成する。 	<p>継続力向上支援</p> <p>第1・2クール継続</p>	<p>区民課 アカデミー推進課</p>
2	ぶんきょう・いんぐれす	ぶんきょう・いんぐれす (郷津 桂一)	<p>史跡が多く知的レベルの高い人たちが集まる文京区は、Googleマップを利用したGPSゲーム「インGRES」を楽しむ人たちの絶好の遊び場となっており、街を歩くことによって人と人が繋がりはじめている。それを活かして、若者やネット住民が地域と接点を広げることで解決される地域課題を、「観光・集客」「健康促進」「世代間交流」に焦点を絞って活動する。ゲームによって街を歩くこととイベントを実施することでプレイヤーと地元住民とが交流し、地域特有の課題を発見し、解決していく。</p>	<p>継続力向上支援</p> <p>第1・2クール継続</p>	<p>経済課 アカデミー推進課</p>
3	「ようこそサカミチin文京 2023」(減災連携ステイク ホルダーミーティングのモ デル化とサカミチ観光開発 事業)	本郷いきぬき工房 (瀬川 智子)	<p>私達は、首都直下地震がオリンピック・パラリンピック開催中に発生しても全員が無事に助かることを目指し、防災・減災のための対話の機会の創出とサカミチ観光開発事業を2本柱としたサービスのパッケージ化を実施する。具体的には、首都直下地震の発災直後72時間、公助が不足する中で、近隣の企業・大学・商店・町会・住民等、「新たな公共の担い手」達が近隣エリアで救助し合えるような連携体制をつくるため、産官学民による「減災連携ステイクホルダーミーティング」の型を作っていく。また、平時において、楽しく前向きに救助の担い手を養成することを目的に、文京区の観光資源でもある情緒豊かなサカミチでの「観光×防災×心のバリアフリー」を事業化することを通じて、世界でいちばん心豊かなサカミチが文京区に生まれ、やがて世界に展開できるモデルづくりを目指す。</p>	<p>継続力向上支援</p> <p>第1・2クール継続</p>	<p>防災課 アカデミー推進課</p>

(注)掲載は、プレゼンテーション順